

ADHD 治療の小児科・精神科連携を考える会

医療法人水明会佐潟荘 医局

11月26日(土)、ADHD治療の小児科・精神科連携を考える会(場所:ホテルオークラ新潟、主催:ヤンセンファーマ株式会社)に、当院から、成人のADHD診療を行っている北村医師と、思春期・青年期のADHD診療を行っている増澤医師が参加しました(ADHD=注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害)。講演Ⅰは、新潟こころの発達クリニック(新潟市中央区湖南)の副院長で、児童精神科医の田村立先生による『専門クリニックにおける発達障害の診断と治療』でした。院長の遠藤太郎先生や、充実したスタッフと協働して、小児から成人にわたる非常に多くのADHD患者さんに対して、薬物療法を含む多角的な医療を展開されており、たいへん感銘を受けました。講演Ⅱは、新潟県はまぐみ小児療育センター(新潟市中央区水道町)の小児科部長で、小児神経科医の福島愛先生による『当センターにおける発達障害診療について』でした。はまぐみ小児療育センターは、「障がい児の早期発見・療育システムにおける新潟県下の中核的診断・療育機関」であり、「発達障がい者支援センター(RISE)」もあります。相談例・受診者の最頻値は3歳とさすがに若く、言語症/言語障害、限局性学習症/限局性学習障害、発達性協調運動症/発達性協調運動障害など、ADHDと時に併存する様々な神経発達障害に対しても、小児神経学の立場からうまく対応されているようでした。